

第119回不正対策研究部会	
開催：	平成28年5月27日（金）午後1時～午後3時 PCSA会議室にて
出席人数：	正部員9名、日遊協参加者2名、メーカー参加者1名、オブザーバー1名、合計13名
出席者リスト：	リーダー
	松本 浩 株式会社ヒカリシステム
	サブリーダー
	市川 忍 株式会社ダイナム
	正部員
	寺島 宗幸 株式会社ニラク
	大野 卓生 夢コーポレーション株式会社
	梅野 唯行 株式会社合田観光商事
	上野 誠 株式会社ヒカリシステム
	柏 信吾 株式会社パンドラ（アメニティーズ）
	徳永 正宣 株式会社チアエンタープライズ
	山本 譲 株式会社三永
	一般社団法人日本遊技関連事業協会（日遊協） 参加者
	1名 株式会社マルハン
	1名 株式会社アブライ
	遊技機メーカー 参加者
	大庭 義樹 様 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
オブザーバー	
高石 隆一 様 有限会社ジャパン・セキュリティ・サービス	
討議事項：	1) ゴト被害アンケート 4月について
	アンケート回答6社。電波ゴト、セルゴト、持ち込み、糸付き玉などで、被害件数74件、被害額¥869,405-、警察への通報回数が11件、被害届申請が9件、被害届受理が3件となっている。4月は例年と比較しても非常に発生件数が少なくなっており、被害なしの企業が回答社数の2/3を占めた。4月の具体的な事例としては、非常に強い電波ゴトにより対象台以外からのセンサー発報が散見された。また、持ち込み玉の個数が少なくなってきたり、プロではなくアマチュアの出来心での実行が増加している、などがあげられた。
	2) 遊技台部品交換について
	所轄ではなく、都道府県警の査察により部品交換のタイミングを指摘されるのではないかとこの危惧が高まっている。複数の都道府県遊協から、原理原則の徹底を促すお知らせが来ており、各社周知すると共に原理原則の厳守を呼び掛けた。
	3) 最新ゴト情報
	警察が押収した不正基板の継続情報、スロットM・スロットGのクレマン対策、広告宣伝違反ホール、都道府県毎に異なる広告規制の厳しさ、不正サブROM中古台の購入をホールが非常に恐れている事などの情報を交換した。
	次回開催
	平成28年6月24日（金）
	第120回不正対策研究部会
	午後1時～3時 PCSA会議室にて